

新型コロナウイルス感染症に関する 人権への配慮について

問 人権推進課 ☎088・684・1148 生涯学習人権課 ☎088・686・8803

新型コロナウイルス感染症は、SARS-CoV-2というウイルスが粘膜に入り込むことで感染します。飛沫や接触による感染から自分や周りの人を守るため、「三密」を避けることや、手洗い、マスクの着用など有効な方法も示されていますが、誰もが感染・発症する可能性がある感染症です。

いつ、どこで、誰から感染したか分からぬ感染

例もあることから、気付かないうちに感染していてもおかしくない状況です。もし、自分が感染したとき、自分の個人情報や事実でないことが拡散されたら…。自分の大切な人が誹謗中傷されたら…。

周りの人を傷つけることがないよう、周囲への思いやりや相手の立場に立った行動を心掛け、みんなでこの困難を乗り越えていきましょう。

せきやくしゃみをした人に対して露骨に嫌な顔をしたり、冷たい態度を取る

「あの人はコロナだ」など事実無根の話を言いふらす

ウイルス対策に最前線で対応している医療従事者やその家族に差別的扱いをする

不当な差別、偏見、いじめなどは
決して許されるものではありません！！

会社都合での休業を無給の休業扱いにするといった、法律上認められない労働条件の変更を迫る

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)や張り紙などを利用し、患者やその家族を誹謗中傷したり、さまざまな風評を流す

■ ONE TEAM(ワンチーム)でこの危機を乗り越えましょう

現在、軽症患者らを対象としたホテルなどの宿泊療養が行われていますが、宿泊施設に対する差別的発言や風評被害の事例も見られます。また、感染者の個人情報を勝手にネット上にさらす行為が、追跡調査を困難にするとされています。感染された方や濃厚接触者はもとより、感染症対策をされている医療従事者の皆さん、ご家族の方への差別やいじ

め、誹謗中傷などの人権侵害は絶対にあってはなりません。正しい情報に基づき、冷静に行動することが私たち一人ひとりに求められています。私たちはワンチームになり、感染症を封じ込めなければなりません。

私たちが向き合う相手はウイルスであって、感染者ではありません。このことを再認識して、人権に配慮した言動を心掛けていきましょう。